

# 花高同窓会報



## 第104号

発行 平成24年11月1日

秋田県立花輪高等学校  
同窓会事務局

〒018-5201 鹿角市花輪字明堂長根12

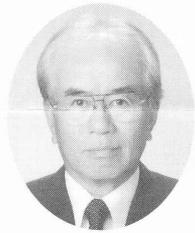
TEL0186-23-2126 FAX0186-23-2137

URL <http://www.ink.or.jp/~hanakoudousou/>

印刷 (有)大館孔版社



### 会長挨拶



## 『Jリーグのように』

同窓会長 井上高廣 (高18期)

かつてサッカーのJリーグが発足するとき、日本では野球の人気に勝てず早晩潰れるだろうと言われていました。しかし、現在どうでしょう、野球以上にチーム数が多くJ1のみならずJ2さらにはJFL等下部組織まででき、観客の動員やグラウンドの立派さ

はもう野球と互角に肩を並べるようになりました。さらにオリンピックやワールドカップでの活躍で人気さらに向上しています。

本校同窓会もJリーグのようになりたいものと思います。花輪高校同窓会のことについてお願いをして歩くと、皆さんの反応は極めて厳しいものです。しかし、活性化計画を作り行動を開始して三年目やっと動き出したと感じております。

今年の同窓会総会は、目標の一〇〇人参加には遠く及びませんでした。これまで最高の五〇名を超える参加者が

集まり、活気のある総会になったのではと思います。当日は総会に始まり小講演会そして懇親会と続き、懇親会では校歌斉唱に始まり、力強く応援歌を歌いエールを送ってお開きとなりました。八期生から三十六期までの同窓生が一堂に会し、若い人達が入ることにより盛り上がりを見せました。このように同窓生が多

く集まった原動力は学年幹事、特に学年代表幹事の皆様の力が大きく、紙面を借りて感謝を申し上げます。

同窓会の目的「会員相互の親睦と教養を図り、母校の発展に寄与する」ですが、母校の発展に寄与する力を蓄えるためには多くの同窓生が集まり互いに親睦を図っていかなくてはなりません。そして、会員の力を結集して母校が文武両道で発展することに寄与できる同窓会にしていきたい

ものです。来年は、参加者を百人超にするため、各職場に総会参加を依頼して歩きます。また、今年が三十九期生までの参加を募りましたが、昨年の卒業

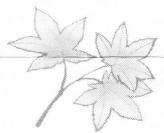
生六十三期まで参加してくれるように働きかけます。会の持ち方も皆さんが参加して良かったと思える趣向を凝らして参りたいと思います。更に、より親睦を深められるように花輪高校同窓生ゴルフコンペ等も開催したいと考えています。

同窓会が盛り上がるためには、本部にもう少し役員の補充を必要としています。本部役員は名誉職ではなく実践できる組織にします。役員各自が多

くのアイデアを出し、グループで企画・運営まで責任を持って活動する組織にしたいと思

います。興味・関心をお持ちの方は奮って参加していただきたいと切に願います。

本校同窓会も本当に盛り上がるのかと心配ですがJリーグのように確固たる地位を築いていけるようになりたいものです。



応援団長

青垣山を〜めぐるせ〜る

【平成23年度 同窓会決算書】

収入総額 2,139,961円  
 支出総額 1,690,790円  
 差引残額 449,171円

収入の部

単位：円

項 目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	増 減 (B)-(A)	摘 要
1. 会 費	1,562,400	1,723,615	161,215	
(1)会 費	900,000	1,066,975	166,975	同窓生会費
(2)入 会 費	662,400	656,640	△ 5,760	@1,440円
2. 繰 越 金	416,268	416,268	0	
3. 諸 収 入	332	78	△ 254	預金利息
合 計	1,979,000	2,139,961	160,961	

支出の部

項 目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	増 減 (B)-(A)	摘 要
1. 会 議 費	50,000	22,282	△ 27,718	総会費用
2. 会 務 費	685,000	551,231	△ 133,769	
(1)旅 費	200,000	97,053	△ 102,947	宮城・秋田支部総会
(2)消 耗 品 費	5,000	5,000	0	用紙
(3)通 信 費	420,000	394,938	△ 25,062	ハガキ、会費振込用紙
(4)振 込 手 数 料	60,000	54,240	△ 5,760	会費振込手数料
3. 事 業 費	415,000	412,797	△ 2,203	
(1)印 刷 費	330,000	344,745	14,745	会費振込用紙、会報(2回)
(2)記 念 品 費	60,000	46,452	△ 13,548	卒業記念品(印鑑ケース)
(3)広 告 費	20,000	21,600	1,600	総会案内、高校野球
(4)行 事 費	5,000	0	△ 5,000	
4. 渉 外 費	45,000	1,160	△ 43,840	
(1)負 担 金	5,000	0	△ 5,000	
(2)渉 外 費	20,000	0	△ 20,000	
(3)慶 弔 費	20,000	1,160	△ 18,840	弔電(レタックス)
5. 助 成 費	490,000	460,000	△ 30,000	
(1)部活動助成費	400,000	400,000	0	インターハイ激励会 部活動後援会助成
(2)支部助成費	90,000	60,000	△ 30,000	宮城・秋田支部
6. 備 品 費	14,000	12,900	△ 1,100	卒業アルバム
7. 積 立 金	200,000	200,000	0	定期預金
8. 雑 費	5,000	420	△ 4,580	残高証明書発行手数料
9. 予 備 費	75,000	30,000	△ 45,000	ホームページ作成謝礼
合 計	1,979,000	1,690,790	△ 288,210	

【平成24年度 同窓会予算書】

収入総額 1,998,000円  
 支出総額 1,998,000円  
 差引残額 0円

収入の部

単位：円

項 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	摘 要
1. 会 費	1,548,000	1,562,400	△ 14,400	
(1)会 費	900,000	900,000	0	同窓生会費
(2)入 会 費	648,000	662,400	△ 14,400	@1,440円×450人
2. 繰 越 金	449,171	416,268	32,903	
3. 諸 収 入	829	332	497	
合 計	1,998,000	1,979,000	19,000	

支出の部

項 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 (B)-(A)	摘 要
1. 会 議 費	50,000	50,000	0	総会費用
2. 会 務 費	665,000	685,000	△ 20,000	
(1)旅 費	200,000	200,000	0	秋田・宮城・東京支部総会
(2)消 耗 品 費	5,000	5,000	0	用紙代他
(3)通 信 費	400,000	420,000	△ 20,000	ハガキ、会費振込用紙
(4)振 込 手 数 料	60,000	60,000	0	会費振込手数料
3. 事 業 費	460,000	415,000	45,000	
(1)印 刷 費	350,000	330,000	20,000	会費振込用紙、会報(2回)
(2)記 念 品 費	60,000	60,000	0	卒業記念品(印鑑ケース)
(3)広 告 費	25,000	20,000	5,000	高校野球等
(4)行 事 費	5,000	5,000	0	
(5)広 報 費	20,000	0	20,000	ホームページ充実費用
4. 渉 外 費	45,000	45,000	0	
(1)負 担 金	5,000	5,000	0	
(2)渉 外 費	20,000	20,000	0	
(3)慶 弔 費	20,000	20,000	0	
5. 助 成 費	500,000	490,000	10,000	
(1)部活動助成費	410,000	400,000	10,000	インターハイ激励会 部活動後援会助成
(2)支部助成費	90,000	90,000	0	秋田・宮城・東京支部
6. 備 品 費	14,000	14,000	0	卒業アルバム
7. 積 立 金	200,000	200,000	0	定期預金
8. 雑 費	5,000	5,000	0	
9. 予 備 費	59,000	75,000	△ 16,000	
合 計	1,998,000	1,979,000	19,000	

※会費の納入有難うございます。来年度から会費納入者を公表します。(会計の透明性を高めるため)

『参加すること』

幹事長 黒澤 義晃 (高12期)

平成二十四年度の総会も無事終了し安堵しているところである。さて、同窓会の活性化を目指し、役員会、学年幹事会等の会議を開催しながら役員一丸となつてその運営にあたっております。総会後の小講演会では、阿部一弘鹿角副市長より「スキーと駅伝のまちづくり」をご講演して頂き有意義な時間を過ごさせてもらい

ました。

まずは参加することで同窓会をご理解を頂き、今後ともご支援とご協力の程よろしくお願ひします。



「スキーと駅伝のまちづくり」  
阿部一弘鹿角副市長 (高24期)

会員の声

『次回も是非参加します』

切田 利通 (高18期)

学年幹事でありながら初めて参加しました。一人では心細くて、二、三人誘つての参加は思ひの他楽しく、先輩・後輩とも交流し、親睦を深め合うことができ、大いに盛り上がったと思います。

『初参加』

高橋 好晴 (高36期)

今回初めて同窓会に参加させて頂きました。大規模で参加者も多く、賑やかであろうと思つていました。しかし、実際はそれほど

『先輩との出会いに感謝』

北村 正人 (高22期)

五月十二日の同窓会総会の楽しみは、議事終了後の懇親会。その席上、意外な先輩との出会いがありました。今まで日常のお世話になっている方が「大先輩」だったとは。新たな発見が総会の魅力でもあります。

『同窓会に参加して』

高見 映昭 (高30期)

初めて同窓会に参加し、いつもは二十人程度の参加だったと聞いていたので、今回は四、五十人の参加で賑やかで良かったと思う。来年は今年の倍以上の参加になるよう私も努力したいと思います。

【会則改正のお知らせ】

本総会において、学年代表幹事という新役員の設置により、一部会則の改正がありました。詳しくはHPをご覧ください。(事務局)

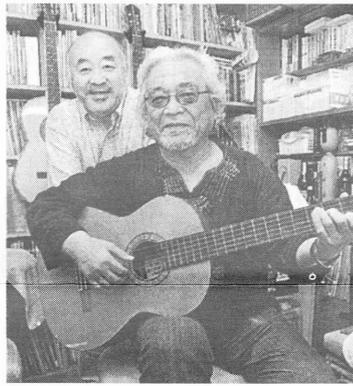
会員寄稿

『我が心の昭和の学び舎』

東京都在住・俳優 石澤 徹 (高23期)

皆様、こんにちは、私は昭和四十六年卒業、二十三期生の石澤徹と申します。今年には鹿角市市制四十周年、そして、我々の年度生が還暦を迎える年であります。そして、この度、その事を記念してのイベントに、大館市出身のギタリスト原莊介氏と、俳優として参加させて頂くことになりました。非常に光栄なことであり、ありがたくもありませんまた緊張もしております。

さて、私達が在学中は丁度新校舎が引越した年でもあります。大きな柳(?)の木に守られた校門を通ると旧制女学校時代の香りが漂ってくるかの如く、米代川、花輪線に隣接した校舎、運動場はまさしく昭和の風景そのものでした。昼休み、土手にすわり目の前を通りすぎてゆくディーゼル機関車を眺めながら弁当を食べたこと、柔道部の部活動を終え土手に寝っころがりながら、疲れ切った体を心地いい風に身をゆだね、沈みゆく夕陽を見ながら隣にいた山羊さへも入ってきそうな友との語り、まるで映画のワンシーンにもなりうる情



市制40周年記念コンサート  
ギタリスト原莊介氏と石澤氏(後方)  
さきがけ新聞より

景を未だにはつきりと記憶に留めております。当時新しい校舎への移転は憧れと嬉しさで一杯でした。引越してからもなかなか抜けない打ちつばなしのコンクリートの臭いは、あたかも都会の生徒にでもなつたような錯覚さえ感じさせました。それでも、たった一年しか過ごさなかつたあの懐かし在校舎にこれほど思いを馳せるのは、私だけでしょうか。先日、大正時代の学び舎が火災で焼失したニュースを耳にし、寂しい思いに駆られたのと同時に我が母校、花輪高校懐かしの学び舎が私の心の中に甦りました。鹿角で生まれ、育った18年間の中のたった一年の思い出が、今日の自分のなかの源流になっているのかとさえ感じられずにはいられない、還暦を迎える今日この頃です。ありがたきかな、我がふるさと、鹿角、ばんざい!!



『次は校歌を唄いたい!!』

東京都在住 頓 所 敦 彦 (高24期)

卓球同好会がクラブに昇格して四十年になるのか。三月に案内をもらってから二ヶ月、卒業アルバムを広げて記憶を修復させていく時間は実に楽しいものでした。そして祝賀会当日、顧問の松田文太郎先生のお元氣なご様子、安心いたしました。狭い場所でもボールを打ち合った懐かしい顔、壁打ちで感覚をみがいた話など、掘り出し物もたくさんありました。



松田クラブ顧問を囲んで

40年目の奇蹟

それぞれに苦労しているから、いい顔になっていると思えました。酒も料理も美味しくていただきましたが、お店のママが高校の先輩だそう

です(露みそはとも酒に合いました)。翌日は旧高校跡地や現校舎を見て帰りました。リング畑がなくなったり、近い景色は変わっても、後方の青垣山はそのままです。次に集う日を楽しみにしています。卓球台が一台あるといいですね。

『若き時を語りて尽きず』

東雲OB会幹事長 高 木 豊 平

花輪高校の会に「東雲」の冠をつけるのは、県内で一番早く夜明けを迎えるという意味の外に、時代のさきがけたらんとする意気も込められていると思うのは、会に集う先生方を見て感ずることである。毎年七夕の頃に花輪高校旧職員会の会(東雲OB会)を開いて、今年二十五回を数える。二十五年前、元氣な先生方が、退職しても楽しく盃を交わしたいということで、市内にお住いの方々呼びかけて始まったと根市昌二先生から伺った。初代幹事長は北村正平先生。そのもとに馳せ参じた谷地、安倍、浅利、児玉……。皆さんすでに幽明界を異にされている。北村先生の後を襲って、いろいろ会のきまりを作って下さった根市先生も、今年鬼籍に入られた。三代目は阿部洋一先生。命ぜられて今は小生がそのあとであるが、ほとんど事務は井上高廣先生にお任せである。会は、毎回、閉会知らずというくらい盛り上がる。花輪が初任という方が多く、従って己が青春を語る場となる。ただ近年市内在住の先生方が少なくなつたので、少しウイングを広げたら、山形から鈴木正一郎先生、仙台から前原正治先生なども駆けつけて下さった。今年には全県の先生に呼びかけたところ、四十人近くも集って下さり、大いに久闊を叙した。退職されてもまだいろんな分野で活躍されておられる方が多く、次こそ都合をつけてとのお便りに、来年の美酒の香りがすでに漂っている。



恩師の先生方



地元の話題

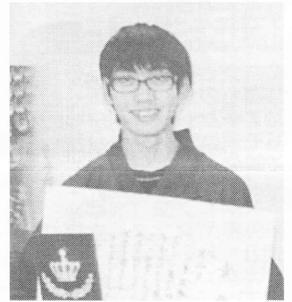
国民文化祭

来る!!

(H25・10・4〜秋田)

四月二十八日に山形県の米沢市武道館で行なわれた「第十三回上杉杯争奪全国かるた競技大会」で、山形大学一年の澤出拓人君(高64期)が見事C級で準優勝し、二段に昇段した。

かつて、花高においても競技かるたが盛んに行なわれ、全校でのクラス対抗かるた大会が毎年よく開催されていた時期もあった。今度、国民文化祭が秋田県で開催される。本市では競技かるたの



準優勝した澤出さん  
北鹿新聞より

会場になっている。

秋の田のかりほの庵の

わが衣手は露にぬれつつ  
—天智天皇—

この機会に、カルタの下句を求めて、鹿角を旅するのもいいものではないかと思う。

小さな親切実行章

三月十七日の帰宅途中、JR鹿角花輪駅近くの側溝に転落した男



男性を救助した角館さん、藤本さん  
北鹿新聞より

性を協力して救出したとして、花高三年の角館理子さん(3C)、藤本玲里さん(3C)に鹿角警察署から感謝状が贈られると共に、後日二人の勇敢な行動に対し、公益社団法人「小さな親切」運動本部(東京都)から小さな親切実行章が贈られた。また、当日の状況を振り返りながら、「命の尊さをあらためて感じる事ができ、一人の男性を助けることができてよかった」と角館さんがコメントしていた。  
二つの記事を通して、一閑雅裕学校長が目指す「まっすぐな眼差し」という人間像を垣間みるような気がする。

あきた鹿角国体に向け連携!  
花輪高と旧鷹巣高スキー部OBが野球交流

平成二十五年二月、あきた鹿角国体が開催される。開催を前に、かつてライバル関係を築いてきた花輪高と鷹巣農林高校OBが今年も野球による交流を行った。今回で三回目になるのだが、試合は9-4で花輪OB会(児玉政明会長・高42期)が初勝利を飾ったのである。両OB会には、来たる冬季国体の役員や選手もいることから、開始式で児玉会長が「スポーツの秋を楽しみ、国体に向けた情報交換も行って、秋田の競技発展に協力してほしい」と呼びかけていたと地元紙に載っていた。最優秀選手賞には、中村和司(高60期)、ファイナンプレー賞は海沼哲史(高45期)が選ばれた。



鹿角アメニティーで行なわれた交流試合  
北鹿新聞より

今年のスキー部も、駅伝の陸上部同様、花高健児意気や高しである。  
試合後、今は静寂を頑なに守り続けている花輪の「親不孝通り」に練り出し♪今や勝てり我等♪と声高らかに歌ったかは定かではないが、多くのOB・OGが待っていますので、帰省の際にはちょっと暖簾をくぐってみるのも人生の愉しみ方なのであろう。

平成25年度総会のお知らせ

日時:平成25年5月18日(土)PM5  
場所:芳茹荘 会費:3,000円

花高同窓会では、今年、活性化計画三年目に入り、学年幹事主体の総会・懇親会の運営という目標に向かって、学年幹事名簿の確認作業を進めているところであり、平成25年度の当番幹事は、18・19・28・29・38・39期になっておりますので、協力の方よろしく願います。人の集まる総会も徐々にではありますが、会員の皆様のご理解を頂きながら

一〇〇名という第一目標に向かって進んでおります。そのためにも楽しく想い出のできる懇親会等も話し合いの中から見出しつつあります。声高らかに校歌を唄おうじゃありませんか。参加すること加その第一歩です。

【連絡先】

☎0186・23・2126

担当:木村まで

『セバマダノ』

初夏の頃NHKラジオ今日の歌に、青森県出身であり若い女性歌手という二人組の女性歌手の歌が流れた。

「セバマダノ」風の恋文」。深く澄んだ歌声に感動し、その題名は東南アジアのことばかりかと思っていた。

「なんとという意味?」と、心にひっかかっていたところたまたま聞いていたラジオで、ゲスト出演していたサエラが、題名は津軽弁で「また会いましょう」といいます。



だんご

花輪弁では、「しえ(へば)ばまだ」。方言もまならないで美しい発音で話すとなんとステキなことか。「んだったのが」と一人で納得。同じ東北人だと思おうれしくなりました。

今年はやたらと暑かった夏も終り、暑さで遅れた紅葉も今がさかり。長い冬が来る前に、残り少ない秋を満喫しよう。「しえばまだ。」

吉村 アイ (高19期) 編集委員・花輪